

特集 文化であいちが元気になる!

- 第19回世界少年野球大会愛知・名古屋大会を開催します  
～心をつなごう あいちで世界とキャッチボール～
- 授業名人活用推進事業
- 愛知県その道の達人派遣事業
- スクールガードリーダーの活動について
- 「無事故・無違反ラリー2008」にチャレンジしよう
- 道路交通法が一部改正されました
- モラルの向上 ●おでかけガイド

タイトルの趣旨  
「パレット」には、本広報紙を絵の具をのせるパレットにみたてて、教育情報を発信し、家庭・地域・学校が一体となって、大きなキャンパスに子どもの未来を描きたいという願いが込められています。



# さらに進む本県の国際交流・国際理解教育



国際化・グローバル化が大きく進展する中で、本県では世界の国々との交流がますます活発になっています。

特に、平成17(2005)年に開催された愛知万博における「一市町村一国フレンドシップ事業」などを契機に市町村単位での交流の機会が生まれ、万博終了後も双方の交流が継続しています。

こうした中で、本県の小学校、中学校、高等学校において、

姉妹提携や学校間などによる外国の学校との交流が盛んに行われています。

また、平成19年度から国の事業として5年間の予定で実施されている「21世紀東アジア青少年大交流計画」により、中国をはじめアジア各国から多くの高校生が本県を訪れ、ホームステイや各種の行事により、相互理解を深めています。

本県の将来を担う子どもたちと外国の子どもたちとの交流の様子をいくつか紹介します。



## 日進市立西小学校

平成18・19年度の2年間にわたり、愛知県教育委員会研究指定事業の一つとして『広い視野を持って他者とかわり、生き生きと活動する子を育てる国際理解教育』- 地域や世界の人々とふれ合う活動を通して」を主題に国際理解教育分野で調査研究を進めてきました。写真は、5年生が田植えをしている様子です。

5年生による  
田植え作業



## 豊川市立御津南部小学校

御津南部小学校では、オーストラリアの小学校との交流を10年以上前から行っています。隔年で互いの国を訪問し合っており、昨年度は、シデナム小学校から6名の小学生が訪れホームステイをしました。学校での歓迎会や日常の授業への参加、あるいは日本の伝統文化である習字やお茶、着物の着付け、剣道などの体験を通して交流を深めることができました。

深まる  
シデナム小学校との交流  
— 互いの国歌を  
披露し合った歓迎会 —



歌やゲームなどで  
楽しいひととき



## 蟹江町立新蟹江小学校

エジプト、シリア、パレスチナのJICA研修員のみなさんを迎えて交流会を行いました。歌やダンス、英語による福笑いやジェスチャーゲーム、じゃんけんゲームなどの交流を通して、楽しいひとときを過ごしました。どの子も自分の英語が伝わったことに感動し、英語への期待感を膨らませたようです。また、実際に外国の人とふれ合うことにより、いっそうの親近感を覚え国際理解を深めるよい機会にもなりました。

留学生との  
ボール送りゲーム



## 愛知県立岡崎盲学校

各学期に一回、留学生との交流を行っています。自己紹介や質問、ゲームなどをおして、お互いの文化に触れ合い、貴重な時間を過ごしています。写真は留学生と「ボール送りゲーム」をしている場面です。ボールを隣の人に渡していき、音楽が止まった時にボールを持っていた人が、考えてきた歌を歌います。留学生から出身地のオーストラリアの歌をいくつか聴くことができ、とても楽しいひとときでした。